

Step 2

過去(回想)と現在の場面を比較し、過去と現在で変化したところ(あるいは共通するところ)を簡潔にまとめて書き入れ、伏線を捉えよう。

過去と現在の結びつき、伏線を読み取ることで、話の核心を捉えやすくなったり、主人公への共感が高まったりします。こうした読み方を身につけて、作品を楽しもう。

	タクジの ヒューマノイドロボット	「僕」が 恥ずかしいと 感じること
過去の場面	・タクジは、人間の恥ずかしい気持ちを理解できるヒューマノイドロボットを作る、と宣言。 ・タクジは、ロボットを作るとしたら転ばないようにする、と言う。	・大勢の前で名前を呼ばれただけでも恥ずかしくなるし、目立ただけでも恥をかく、と考えている。
現在の場面	・ヒューマノイドロボットは、恥ずかしさをわかっているように見えなかった。 ・ロボットは転ぶが、自分で起き上がることができる。 ・タクジは、大事なのは、起き上がることで考えている。	・大勢の観客席にいる人たちの前で名前を呼ばれ、注目されたことで顔が真っ赤になった。
過去と現在で変化したところ／ 共通するところ	タクジは「恥ずかしい気持ちを理解できる」「転ばない」ヒューマノイドロボットを作ると言っていた。しかし、現在の場面で作られたロボットはどちらの機能もないロボットである。	「僕」が恥ずかしいと感じることは過去と現在で変わっていない。タクジは過去の場面で「僕」が恥ずかしいと話したことをそのままやっている。

交流

結末で「タクジ、聞いていた話と違うじゃないか。」と思ったときの「僕」の気持ちはどのようなものだったのだろうか。Step 1、2も踏まえつつ、思ったことを語り合おう。

この作品を読んだ友達と、感じたことや考えたことを伝え合おう。自分とは違う考えを聞いて、自分の考えをさらに広げ、深めよう。

共通点

相違点

疑問点

友達の考えと比べてみよう